経営比較分析表（令和3年度決算）

千葉県　我孫子市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**	
-	90.89	93.92	2,695	

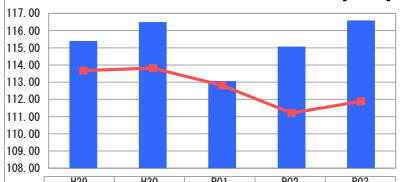
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
131,402	43.15	3,045.24
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km²)**	**給水人口密度(人/km²)**
123,168	43.51	2,830.80

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

【111.39】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	115.40	116.50	113.07	115.07	116.59
平均値	113.68	113.82	112.82	111.21	111.89

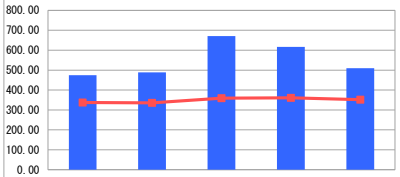
②累積欠損金比率(%)

【1.30】

	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.03	0.00	0.00	0.00	0.45

③流動比率(%)

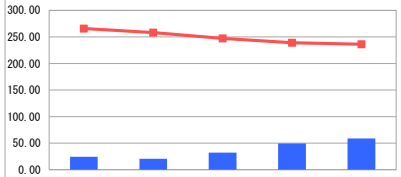
【261.51】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	474.71	488.68	670.95	616.72	509.78
平均値	337.49	335.60	358.91	360.96	351.29

④企業債残高対給水収益比率(%)

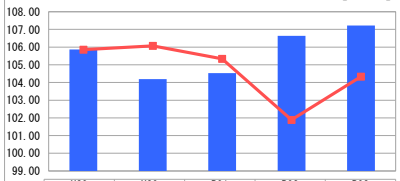
【265.16】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	24.20	20.48	31.99	49.35	58.69
平均値	265.92	258.26	247.27	239.18	236.29

⑤料金回収率(%)

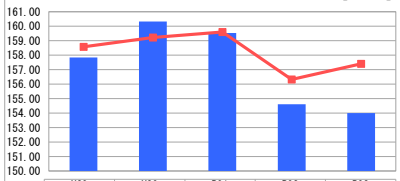
【102.35】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	105.87	104.19	104.53	106.64	107.22
平均値	105.86	106.07	105.34	101.89	104.33

⑥給水原価(円)

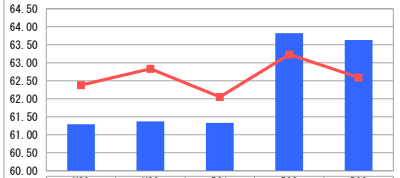
【167.74】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	157.84	160.32	159.53	154.61	154.00
平均値	158.58	159.22	159.60	156.32	157.40

⑦施設利用率(%)

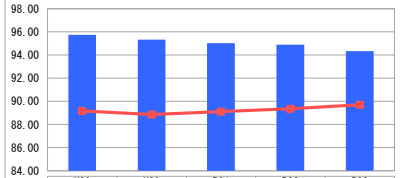
【60.29】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	61.29	61.37	61.33	63.82	63.63
平均値	62.38	62.83	62.05	63.23	62.59

⑧有収率(%)

【90.12】

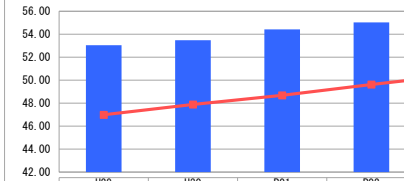


	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	95.74	95.33	95.02	94.90	94.34
平均値	89.17	88.86	89.11	89.35	89.70

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

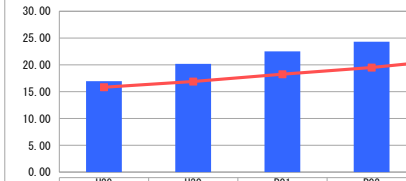
【50.88】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	53.04	53.48	54.43	55.03	54.52
平均値	46.99	47.89	48.69	49.62	50.50

②管路経年化率(%)

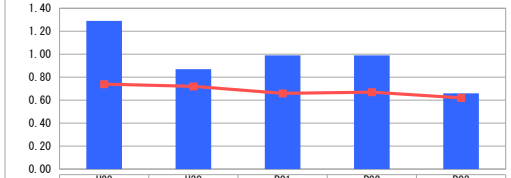
【22.30】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	16.95	20.19	22.52	24.33	25.67
平均値	15.83	16.90	18.26	19.51	21.19

③管路更新率(%)

【0.66】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	1.29	0.87	0.99	0.99	0.66
平均値	0.74	0.72	0.66	0.67	0.62

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、⑤料金回収率
　100%以上を維持し、かつ、全国及び類似団体平均を上回り、高い健全性を示しています。
　新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、使用者の在宅期間が増加傾向にあることも相まって、有収水量(給水収益)が増加した。今後減少も見込まれることから引き続き注視していきます。

②累積欠損金比率
　累積欠損金は生じておらず、0%を維持しています。

③流動比率、④企業債残高対給水収益比率
　全国及び類似団体平均と比べ、③は上回り、④は下回っており、短期・長期ともに支払能力は問題ありませんが、今後老朽化した施設の更新等に多額の費用を要し、企業債の借入も増加していくことが見込まれます。

⑥給水原価
　企業債償還利息の減少等で経常経費が低減したことや給水収益が増加傾向にあることから、全国及び類似団体平均を下回っていますが、今後物価高により費用の増加が見込まれることから引き続き注視していきます。

⑦施設利用率
　配水量の増加により全国及び類似団体平均を上回っています。引き続き適切な施設規模を維持していきます。

⑧有収率
　全国及び類似団体平均を上回っていますが、年々減少傾向にあります。引き続き有収率向上のため漏水調査等を行っていきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管路経年化率
　計画的な修繕を行い、施設の長寿命化を図っていることから全国及び類似団体平均を上回っており、依然として施設の更新需要は高くなっています。

③管路更新率
　全国及び類似団体平均を上回っていますが、令和３年度は拡張工事を実施し更新延長が減少したため、令和２年度と比較して減少しました。

　今後過渡期を迎える施設の更新需要に備え、平成30年度にアセットマネジメントの再評価等を行い策定した「我孫子市水道事業基本計画」に基づいて、計画的に事業を進めていきます。

全体総括

　今後有収水量の減少が見込まれることや、浄水施設・管路の更新需要が高くなっており、本市水道事業を取り巻く経営状況は一層の厳しさを増すこととなります。
　将来の事業継続に向け、水道サービスの持続性を確保するため、包括業務委託等による外部委託の更なる拡大等を図り、費用の縮減や企業債等の活用により更なる業務の効率化・運営コストの削減に努めていきます。